

■STS-02 ステンレス製保冷缶ホルダー ～ 取扱説明書 ～

更新日:19.12.13

ご使用方法

ご使用前に本体を十分に洗ってください。

缶ホルダーご使用時：保冷専用

① 飲料缶を本体に入れる

冷蔵庫で冷やした飲料缶を本体にしっかり押し込んでください。

[注意] ・指を挟まないように注意してください。
・冷凍した飲料缶は入れないでください。
・飲料缶は本体に入れてから開けてください。飲料缶が飛び散り、ものを汚す原因になります。



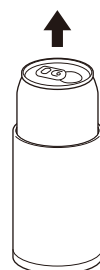
② 飲料物を飲む

飲料缶を開け、ゆっくり傾けながら飲んでください。

③ 飲み終わったら飲料缶を取り出す

本体から飲料缶を取り出してください。

[注意] ・飲料缶を入れたまま長く放置すると、腐食の原因になります。
・飲料缶が残った状態で飲料缶を取り出さないでください。飲料缶が飛び散り、ものを汚す原因になります。



タンブラーご使用時：保温・保冷

タンブラーとしてご使用の場合は、直接飲料物を入れゆっくり傾けながら飲んでください。

お手入れ方法

清潔に使用して頂くために、ご使用後は、その日のお手入れをしてください。

- お手入れは、食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ又はブラシでよく洗い、水気を拭き取り十分に乾燥させてください。
- 長期間使用しない時は、汚れを十分に落とし、よく乾燥させてください。高温多湿の場所を避けて保管してください。

本体

○丸洗いでできます。

[注意]

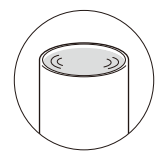
- つけ置き洗いはしないでください。
原因から水が浸入し、腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。
- 塩素系漂白剤を使用しないでください。
腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。



内容器 ※内容器は下記の方法でお手入れができます。

【斑点状の赤いサビが付着している場合】
水に含まれる鉄分等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、食酢を10%程度加えて約1時間放置後、よく洗ってください。

【ザラザラしたものが付着している場合】
水に含まれるカルシウム等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、クエン酸を10%程度加えて約3時間放置後、よく洗ってください。



【汚れや臭いが気になる場合】
酸素系漂白剤を内容器に入れ、約30分放置後、よく洗ってください。

⚠️ お手入れ上の注意

お手入れの前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 食器洗浄機や食器乾燥器等を使用したり、煮沸しないでください。
変形による保温・保冷不良の原因になります。又、保護シートのはがれ、腐食の原因になります。
- シンナー類・クレンザー・金属タワシ・化学ぞうきん等は使用しないでください。
傷や腐食の原因になります。
- スポーツ飲料等、塩分を含んだ飲料物を入れた場合、ご使用後すぐにお手入れしてください。
塩分による腐食の原因になります。

※外面がツヤ消し塗装仕上の製品は、ご使用に伴い擦れ跡が目立ったり、ふきん等で強く擦ると色落ちする場合がありますが、ご使用上問題はありません。

商品のお問い合わせに対応させて頂くため、商品の品番・商品名を必ず記入してください。

品番

商品名

STS-02

ステンレス製 保冷缶ホルダー

共通 取扱説明書

この度は、お買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。お読みになった後は、必ず保管してください。

この取扱説明書の裏表紙に商品の品番・商品名を必ず記入してください。

商品、取扱説明書の不明な点についてのお問い合わせ先

和平株式会社

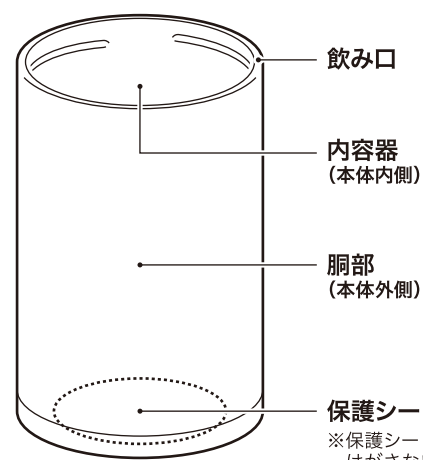
〒959-1292 新潟県燕市物流センター2丁目16番地
0256-66-8511 [アフターサービス係]
https://www.wahei.co.jp

受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土日・祝日は除く)

Q&Aはこちら



各部の名称



本体

●ご使用前に食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ又はブラシでよく洗ってください。

※イラストは一般的なものであり、実際の形状とは異なる場合があります。
※製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更する場合があります。

⚠️ 取扱上の注意

●ご使用になる時は、ヤケドや飲料物の変質・変色、製品の故障・汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。
●こぼれは、ヤケドや他のものを汚す原因になります。

●乳幼児の手の届く所には置かないでください。又、いたずらには十分注意してください。
ヤケドやケガの原因になります。



●飲料缶・飲料物を入れる目的以外に使用しないでください。

●コンロやストーブ等、火気のそばには近づけないでください。
ヤケドの原因になります。



●落とす・ぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
変形し、保温・保冷不良、飲料缶が入らなくなる原因になります。



●電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び、ケガやレンジの故障の原因になります。



●冷凍庫に入れないでください。
破損の原因になります。

●不安定な場所に置かないでください。
飲料物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因になります。

●改造・分解・修理はしないでください。
故障・事故の原因になります。

缶ホルダーご使用時

●適合サイズの缶を入れてください。
飲料缶が抜け落ちて、けがやものを汚す原因になります。又、缶の形状によっては入らない場合があります。

●飲料缶は本体に入れてから開けてください。
飲料缶が飛び散り、ものを汚す原因になります。

●飲料物が残った状態で飲料缶を取り出さないでください。
飲料缶が飛び散り、ものを汚す原因になります。

●飲料物が残った飲料缶を入れた状態で長く放置しないでください。
腐敗や変質の原因になります。

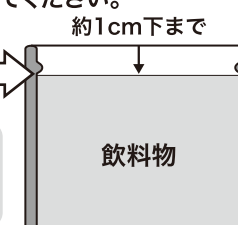
●ご使用後は本体から飲料缶を取り出してください。
長く放置すると、腐食の原因になります。

タンブラーご使用時

●飲料物の量は、図の位置以下にしてください。
内容器の口元より約1cm下までが目安です。

[注意] 入れすぎると飲料物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因になります。

※あらかじめ少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。



●熱い(冷たい)飲料物を入れた場合、飲み口周囲が熱くなる(結露する)事があります。
熱い飲料物を入れた場合、ヤケドに注意してください。
本体内側の熱が飲み口より外側に伝わり、熱くなる(結露する)事があります。

●飲料物を飲む時は、本体を急に傾けないでゆっくり飲んでください。
勢いよく出で、ヤケドの原因になります。



●飲料物を入れた状態で長く放置しないでください。
腐敗や変質の原因になります。

●ケトル等から直接入れる場合、注ぎ口を飲み口に当てないでください。
本体が転倒して、ヤケドやケガの原因になります。



●熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色や風味が変わります。

●大きな氷を入れる場合は押し込まず、小さくしてから入れてください。
飲み口が変形し、保温・保冷不良の原因になります。



●アイスピック等、先のとがったもので突かないでください。
破損や保温・保冷不良の原因になります。